

平成22年度 シラバス  地 理 (Geography)	学年・期間・区分	1年生・通年・A群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン
	担当教員	佐野 武則 (Sano, Takenori)
	教員室	非常勤講師控室 (tel. 2067)
	E-Mail	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 30回	
<p>〔本科目の目標〕 世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を社会環境および自然環境と関連付けて理解させ、世界と日本を比較し多面的に考察させることによって地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>		
<p>〔本科目の位置付け〕 小・中学校で学んだ地理を土台とし、歴史と同時履修する。本科目および歴史、倫理、政経は互いに有機的に関連し、補完し合うものであり、一般常識の基礎となるものである。</p>		
<p>〔学習上の留意点〕 教科書・地図帳を利用し授業を進める。基本的用語、地名の定着に留意しながら、現代社会、世界の理解に努める。また、地図の作業や統計資料のグラフ化、読図などの提出を求める。</p>		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 地球の大きさと丸さ	8	地球表面は角度や視点を変えると、見えてくるものが違うことを理解させる。世界の略地図の書き方の学習。国境について考えることができる。
2. 結びつく現代世界	8	交通、通信網の発達により世界がどのように結びついているか理解することができる。また、食生活を通じて世界の結びつきを学習し、外国人が増えてきたのはなぜかを考えることができる。
-- 前学期中間試験 --	2	授業項目1および2について達成度を確認する。
3. 多様さを増す人間行動と現代社会	4	1.2で学んだ知識や技能を生かし、現代における人間行動の多様さを理解することができる。
4. 生活・文化と自然や社会のかかわり	8	地域の生活・文化と自然環境のかかわりを理解することができる。
-- 前学期末試験 --		授業項目3および4について達成度を確認する。
5. 異民族との共生	16	民族をとらえる視点、民族の共生を考える視点について学習する。特に民族の言語・宗教・歴史に視点をおいてアラブ世界、インド、韓国、中国等について理解を深めることができる。
-- 後学期中間試験 --	2	授業項目5について達成度を確認する。
6. 日本の近隣諸国	4	4.5で学んだ知識や技能を生かし、日本の近隣諸国(中国、韓国、ロシア)の人々の生活と文化を理解することができる。
7. 地球的課題の解決	10	人口、都市・食料・エネルギー問題、森林などについて地球的視野で理解を深めることができる。
-- 後学期末試験 --		授業項目6～7について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において誤った部分を理解できる。
〔教科書〕「高校生の地理A」～暮らし・世界・未来～ 帝国書院		
〔参考書・補助教材〕地歴高等地図 帝国書院(新訂版)		
〔成績評価の基準〕定期試験成績(80%) + レポート(20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕1-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		